

# 平成23年度の 地域密着型金融の取組み状況

## 目次

1. 地域密着型金融の取組みの概況について …………… 1
2. 具体的な取組み内容について …………… 1
  - (1) 顧客企業に対する  
コンサルティング機能の発揮 …………… 1
  - (2) 地域の面的再生への積極的な参画 …………… 4
  - (3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信 ……… 5

## 1. 地域密着型金融の取組みの概況について

平成23年度のわが国経済は、東日本大震災の発生に伴うサプライチェーンの毀損や電力不足といった大変厳しい供給制約に直面しました。また、欧州情勢の緊張を背景とした海外経済の減速と円高の進展といった多くの懸念材料が表れました。当金庫が営業の基盤とする京都においても、府内全体の経済情勢は厳しい状況が続いています。

このような状況の中で、「中小企業金融円滑化法」の要旨である金融機関が経営相談や事業再生等のコンサルティング機能を積極的に発揮する役割を担うことが、金融機関に益々期待されております。

当金庫は、平成23年度も地域社会の持続的な発展に寄与するべく、金融円滑化や経営改善支援の取組みを強化し、営業店と本部が一体となってお客様のニーズに応じた取組みに一層注力してきました。

## 2. 具体的な取組み内容について

### (1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

#### 1-1 ライフステージ等に応じた取引先企業の支援

##### ●創業・新事業開拓を目指す企業への支援

当金庫は、産学公連携を通じたビジネスマッチングにより、新しいアイデアが新しいビジネスを生む、出会いと結びつきの機会提供に積極的に取り組んでおります。また、地元ベンチャー企業の発展のバックアップ活動にも取り組めます。

##### ○『中信ビジネスフェア2011』

当金庫主催の京都府下最大級の異業種交流複合イベントを開催しました。このイベントで地元中小企業が商品・製品・技術・情報の展示を通して異業種交流を図ることにより、ビジネスマッチング・業務提携のビジネスチャンスを得る場を提供しました。

・成約：34社 商談中：34社

また、ゴミの分別回収や再生紙の利用等の取組みにより、「京都市認定エコイベント」として登録されました。

取引先企業のほか、13行政機関・14大を含む218のブース出展があり、8,880名（前年比+16名）のご来場をいただきました。



『中信ビジネスフェア2011』平成23年10月19・20日



平成23年度のイベントのポイントは、『Executive Touring』と称して独立行政法人中小企業基盤整備機構から専門家を派遣いただき、マッチングブース「中小機構KINKI SQUARE」でマッチングを希望する機構招待企業6社と中信サクセスクラブ出展会員企業16社とのビジネスマッチングツアーを行いました。

## ●成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援

### ○中信学生デザインコンテスト

『中信ビジネスフェア2011』の一環として実施した、当金庫の営業エリア内の大学からアイデアを募ったコンテスト。産学公連携を通じてビジネスマッチングの機会を提供することで、地元中小企業の発展に寄与します。

- ・“京風”をテーマとしたパッケージデザインを募集。7大学から25作品の応募がありました。
- ・この取組みにより、経済産業省近畿経済産業局策定の『関西デザイン撰』において、金融機関で唯一、デザイン推進機関として掲載されています。

#### 第4回中信学生デザインコンテスト



最優秀賞

段ボールストッパー  
「Butterflipper (バタフリッパー)」  
京都工芸繊維大学院 鬼頭昌大さん



優秀賞

「京風パッケージ  
七宝づつみ」  
京都市立芸術大学 松本翔吾さん



優秀賞

「京風パッケージ  
卯手元」  
京都市立芸術大学 本田葉子さん

### ○ベンチャーコンテスト等のバックアップ

- ・京都府の京都文化ベンチャーコンペティション実行委員会が開催する「京都文化ベンチャーコンペティション」を後援し、「京都中央信用金庫賞」を授与しました。
- ・立命館大学の学生ベンチャーコンテストに協賛し、「中信エンジニア賞」「中信ソーシャル賞」を授与しました。

### ○各種ビジネスマッチングのネットワークに参加

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する『信金PLUS+事業』に参加。
- ・大阪府が主催する『ものづくりB2Bネットワーク』への参加。

## ●経営改善が必要な企業への支援

### ○経営改善支援先のモニタリングと経営相談

当金庫は、平成23年度の経営改善支援先として1,387先を選定し、審査部事業支援課スタッフによる訪問・面談により、中小企業の経営者が抱える経営課題に対する助言・指導及び改善経過のモニタリングを継続して行うなど、経営改善をサポートしております。

- ・この内、本部管理先への助言・指導および改善経過のモニタリング 延べ 559回
- ・本部・営業店が連携した経営改善支援相談 延べ 352回



### ○金融円滑化への積極的な取組み

「東日本大震災」の影響等を受ける中小企業者に対する金融の円滑化、資金調達余力確保のために、政府や信用保証協会の制度等を積極的に活用し、スピーディーな対応に努めました。

- ・「東日本大震災復興緊急保証制度」の活用 353件 8,142百万円
- ・「セーフティネット保証制度」の活用 1,837件 39,175百万円

### ○IT経営実践 中信ICT新春経営セミナー2012

特定非営利活動法人ITコーディネータ京都と連携し、経営者・経営幹部を対象とした「これからの経営をさらに良くする！」を共催しました。(41名参加)

#### ●事業再生や業種転換が必要な企業への支援

当金庫は、取引先企業の早期事業再生のため、中小企業再生支援協議会の活用や外部専門家との連携、各種企業再生スキーム等により再生支援に取り組んでおります。

- ・中小企業再生支援協議会を活用した再生計画策定 2件 (平成23年12月同協議会公表ベース)
- ・外部専門家の紹介・導入 15先
- ・中小企業再生支援融資制度の活用 26件 3,771百万円

#### ●事業承継が必要な企業への支援

M&Aにつなげるため、買収・譲渡希望先の情報提供を随時発信し、事業継承に関する京都商工会議所や京都高度技術研究所が開催するセミナーへの誘致を行いました。

**これからの経営をさらに良くする!**

**セミナーの概要**

**経営課題と企業変革**

1. 今日的な中小企業の悩み
2. 何が課題かをチェックしてみよう
3. 成功事例からのヒント

**戦略課題解決とICT**

4. 独自の付加価値創造の仕組み
5. 戦略課題解決の成功法
6. 情報通信技術による課題解決

## 1-2 コンサルティング機能の強化

コンサルティング機能を強化するため、当金庫では職員の経営改善指導能力や事業価値を適正に評価する「目利き能力」の向上を図り、経営相談コーナーにて取引先企業への有用なアドバイスや提案に努めています。

### ○経営相談コーナーの設置

平成21年4月1日より本店ビル内に無料経営相談コーナーを常設。「中小企業診断士」有資格職員が中小企業の経営者が抱える様々な経営課題に対してアドバイスや提案を行っております。（1日5時間 計246回実施）

### ○中小企業診断士の養成

- ・ 中小企業大学校「中小企業診断士養成課程」への職員派遣 1名派遣
- ・ 「中小企業診断士チャレンジコース」の開講 4名受講

### ○研修・セミナー

- ・ 目利き能力、経営改善支援等に関連する外部研修・セミナー 計6講座 延べ11名受講

### ○研修・土曜講座（本部組織が主催する自主参加講座）等の実施

目利き能力、経営改善支援等に関連する研修・土曜講座、庫内全職員を対象としたテストを実施

- ・ 研修・土曜講座 6講座 241名受講  
（内、金融円滑化対応コンサルティング能力研修：2講座 128名受講）
- ・ F P 1 級受験対策講座開講 新規資格取得者 7名
- ・ 庫内テスト 2, 581名参加（金融円滑化関連知識の確認テスト）

## (2) 地域の面的再生への積極的な参画

### ●地域への適切なコミットメント

#### ○地域を担う若い世代や高齢者への金融知識の普及

- ・ 小中学生を対象とした勤労観や職業観を育むための体験型学習施設「京都市学生udentシティ・ファイナンスパーク」に模擬店舗を継続出店。
- ・ 小学校の生活科学習において、金融機関の仕事について学習する機会を設けました。（4校を受入）
- ・ 中学校の社会人講師講座へ職員を派遣し、金融機関の仕事と社会的役割について講義しました。（1校）
- ・ 学生を対象にインターンシップを実施し、当金庫での現場体験を通じて信用金庫業務の理解を図りました。（大学コンソーシアム京都および20大学29名を受入）
- ・ 大学別にテーマについての自主研究と、その研究成果の発表の場を設けました。（2大学24名を受入）



課題に取り組む学生たち

## ○環境経営への取組み

ISO14001規格による環境マネジメントシステムの運用および改正された省エネ法への対応も踏まえ、環境に配慮した商品・サービスの提供、環境配慮型店舗づくり、省エネルギー・リサイクルなどの取組みを積極的に地域へ発信し、地域社会の持続的発展に貢献していきます。

### ●環境問題に取り組む人づくり

「eco検定」試験の受験を積極的に推進し、ISO14001認証取得後の継続学習の一環として、職員の意識改革や自己啓発を行っています。(eco検定取得者数 147名)

### ●環境配慮型店舗をオープン

平成23年度中にオープンした高槻駅前支店(11月28日)、石山支店(1月23日建替え移転)に環境配慮型設備(全館LED照明、屋上緑化、太陽光発電、エコガラス、電気自動車充電設備等)を導入しました。さらに、日中の人工照明を極力使用しなくて済むように自然採光を取り入れると同時に自然通風も取り入れました。



環境配慮型店舗 石山支店

### ●「エコ定期預金」の販売

環境問題に関する地球貢献の一環として、金利を上乗せした「エコ定期預金」を販売し、本定期預金残高の0.015%相当額を「独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金」へ寄付しました。(販売金額 75億円 寄付金額 113万円)

### ●カーボン・オフセット

京都エコポイントモデル事業に参加し、平成23年度は、本店ビル外交活動でのガソリン使用、「中信ビジネスフェア2011」での電気使用、中信美術館の電気・ガス使用に伴って排出されたCO<sub>2</sub>(72.98トン)をオフセットしました。

### ●デマンド監視装置

平成23年度は関西電力管内における電力受給バランスの逼迫に備え、デマンド監視装置を営業店10カ店に追加導入し(合計12カ店)、夏季・冬季における節電対策を強化しました。

デマンド監視装置導入店舗の最大需要電力を平均18.77%低減させました。



デマンド監視装置

## (3) 地域や利用者に対する積極的な情報発信

### ●地域の活性化につながる多様なサービスの提供

#### ○地域経済への多様な情報提供

- 企業経営者を対象に「中信経済講演会」を開催し、景気動向や経済分析・見通しなど地域経済活性化のヒントとして情報を提供しています。
- ビジネス情報誌(ANONA)を発行し、地元企業の景気動向調査の結果を提供しています。

## ○中信サクセスセミナーの開催

中小企業の事業拡大・経営改善の支援を目的として、経営相談を行っている地元の中小企業診断士による経営セミナーを開催。中小企業の経営者自らの経営目標や課題の実現・解決を支援しています。(8回開催 延べ406名参加)

## ○高齢者への相談業務

- 年金や相続に関する疑問解消の為にフリーダイヤルや、テレビ電話による相談業務を随時行っています。

フリーダイヤル	年金相談件数305件	相続相談件数1,242件
テレビ電話	年金相談件数6件	相続相談件数1,889件

## ●地域密着型金融の取組みの発信

### ○ホームページやディスクロージャー誌を活用した情報提供

当金庫の金融円滑化に係る基本方針、体制整備の概要、相談窓口等を記載した「金融円滑化への取組み」のポスターを営業店の店頭に掲示、及びホームページに掲載しています。

貸付条件変更等の実施状況はホームページに掲載するとともに、お客様のご要望に応じて営業店の店頭にて、当該状況を記載した文書等を交付しています。

また、経営改善支援・事業再生への取組状況についてはディスクロージャー誌に掲載しています。

### 金融円滑化への取組み

京都中央信用金庫は、地域の健全な事業を営む事業者及び個人のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと、並びに地域のお客さまの経営相談・経営改善及び経営改善に関するあらゆる課題の解決に貢献することは、当金庫の最も重要な役割の一つであると認識しています。

よって適切なリスク管理の下、金融円滑化を積極的に推進していくため、金融円滑化に係る基本方針を以下のとおり定め、役員に認知徹底するとともに社内体制の整備を進め、これまで同様に金融円滑化に貢献してまいります。

- 1. 金融円滑化に係る基本方針**
  - (1) お客さまの与信取引（貸付契約及びこれに伴う担保・保証契約、貸付条件の変更等）のお申込みに対しては、お客さまの経営状態等を踏まえて、適切な審査を行います。
  - (2) お客さまに対し、経営相談・経営改善及び経営改善に向けた取組みに関する適切な支援を行います。
  - (3) お客さまの与信取引のご相談・お申込みに対し、お客さまに対する説明を適切かつ十分にいたします。
  - (4) お客さまからの与信取引に係るお問い合わせ、ご要望及び苦情相談に適切に対応いたします。
  - (5) ①～④の取組みを効果的に進めるため、お客さまへの与信取引に係る必要な従業員の目標管理能力の向上に努めます。
  - (6) お客さまの与信取引に関して、地域金融の円滑化を推進するために必要な施策を適切に行ってまいります。
- 2. 金融円滑化を図るための体制**

当金庫は、上記の基本方針に基づき金融円滑化管理に関する以下の組織体制を整備し、金融円滑化への取組みの効果を高めています。

  - (1) 金融円滑化対策本部（平成21年12月3日設置）  
金融の円滑化に関する15部署（主幹：審査部）で組織横断的に構成しており、当金庫の取組状況について情報の共有を図るとともに、関連部署や営業店の連携を図り、金融円滑化への取組みについて分析や検討を行っています。
  - (2) 金融円滑化管理責任者（金融円滑化対策本部長兼担当）  
審査部担当役員をこれに任命しており、当金庫が適切な金融円滑化の取組みが行えるよう必要な体制を整備し、取組状況等の分析結果をもとに随時関連部署や営業店を連携いたします。  
また、金融円滑化への取組みにおいてお客さまの利益が著しく阻害される事象については速やかに理事會に報告し、改善のための適切な対応を行います。
- 3. 貸付条件の変更等の実施状況について**

「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の第7条に基づき、当金庫の各営業店において、貸付条件の変更等の実施状況を公示しております。また、当金庫ホームページにおいても公示しております。  
URL: <http://www.chushin.co.jp>
- 4. 金融円滑化に関する相談窓口について**

当金庫の各営業店では、金融の円滑化を促進するため「金融円滑化相談窓口」として下記の責任者及び担当者を任命しており、新規のお借入や既にあるお借入に対するご返済条件の変更等のお問い合わせやご要望、または苦情相談等に対し、真摯に対応させていただく体制を整えています。

**【金融円滑化相談窓口】**  
・金融円滑化営業店管理責任者 支店長（または支店副店長）  
・金融円滑化営業店管理担当 融資担当（または支店次長）  
お取扱い時間 平日9時～15時
- 5. 金融円滑化に関するご意見・苦情等のお申出について**

お客さまからの金融円滑化に関するご意見や苦情相談について下記の専用窓口（フリーダイヤル）を設置いたしております。  
相談室 顧客サポート課 ☎0120-355-774（電話・FAX共通）お取扱い時間/平日9時～17時

 京都中央信用金庫

金融円滑化への取組み発信